

## 【取組紹介】

### ストーンクラッシャーによる石礫破碎実演会

(主催：富士見町農業技術者連絡協議会)

#### 1 目的

町内のほ場では石礫が多く、耕起のたびに石礫が浮き出てくる等、営農の妨げとなっている。大平・小六地区では再基盤整備に合わせて除礫を行っており、令和8年度から整備が始まる高森地区でも実施が検討されている。除礫には「ふるい分け」と「クラッシング（粉碎）」があるが前者は耕作土層の減少や石礫の処分場所の確保が課題となるため、これまでの整備ではクラッシングが採用されてきた。クラッシング施工することで、トラクターの破損防止など営農作業が効率化されるほか、作土層が厚くなり、透水性が向上し排水不良の軽減にもつながる。

(株)めぐみが新たにストーンクラッシャーを導入したことで、クラッシング施工が行える事業者となった。この効果を広く周知するため、実演会を開催し、除礫施工によるほ場条件の改善を図る。

#### 2 内容

(1) 日 時 令和7年11月25日

(2) 場 所 富士町落合のほ場

(3) (株)めぐみによる実演・説明

- ・実演機はTMC CANCELA社のTXK-150(図1)。なお、取得価格は875万円(税抜)。
- ・ハンマーが高速回転することにより、石礫を削りながら粉碎する構造(図2)。ハンマーの取替は7万円/個(実演会時点、現在は値上がりしている可能性あり)。
- ・40cm程度の石まで破碎可能となっている。破碎後は、ゴルフボール程の大きさまで小さくなる。作業深さは15cm。
- ・施工条件は、事前にロータリーをかけること、土が乾いていること(当日は雨天だったが、実演のため施工)。
- ・クラッシング施工することで、大きな石がなくなり、マルチ張り等をストレスなく行うことができる。
- ・(株)めぐみの作業請負価格は90,000円/10aとしているが、あくまでも参考価格のため、価格は応相談となっている。



図1 ストーンクラッシャー

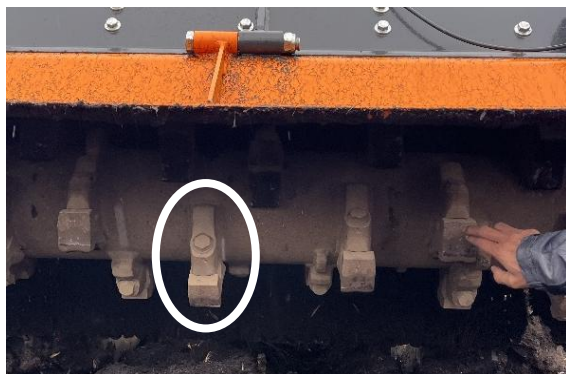


図2 ローター部(ハンマーは白○部分)

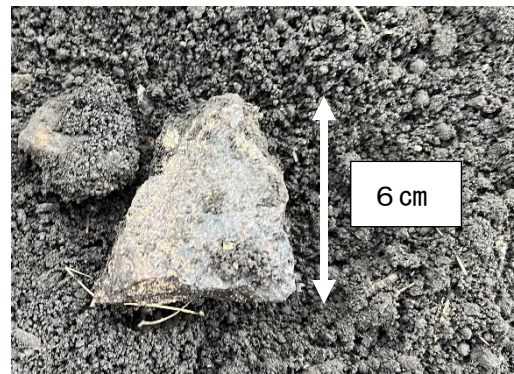


図3 破碎された石